

市民アンケート調査及び分析結果について

第1章 市民アンケート調査の実施

1 調査の目的

市民アンケート調査は、本市の公共施設のあり方を検討する上での基礎資料とすること及び、アンケートの対象者に対し、公共施設の現状や課題について考える機会をつくり、市民の意向等の把握を行うことを目的として実施しました。

2 調査概要

■ 実施内容及び回収状況

調査名	岩倉市の公共施設の利用及び今後のあり方に関する市民アンケート調査
調査対象	平成 28 年 6 月 1 日時点の住民基本台帳から、16 歳以上の市民 2,500 人を無作為に抽出
配布・回収方法	郵送
調査期間	平成 28 年 6 月 23 日～平成 28 年 7 月 22 日
総回答数	914 人（回収率 37%）

■ 調査項目

調査項目	内容
回答者の属性	性別、年齢、職業等（問 1）
公共施設の利用状況	市内の公共施設の利用頻度（問 2）
公共施設の評価	利用時間、人員配置（問 3①）
	利用料金、サービス内容（問 3②）
	ハード面の規模、安全性等（問 3③）
	公共施設の施設数（問 3④）
	公共施設へのアクセス（問 3⑤）
今後の公共施設のあり方	今後の公共施設のあり方（問 4）
	統合や複合のあり方（問 5）
	今後維持（保有）すべき公共施設（問 6①）
	今後統合・削減すべき公共施設（問 6②）
	民間への転換、民間の管理運営について（問 7）
	近隣自治体の施設の使用について（問 8）
自由記入	-

<参考> 標本誤差と信頼度について

(1) 標本誤差と信頼度の概要

アンケート調査では、母集団^{※1}から無作為に抽出した標本データ^{※2}を元に、調査対象の全体を推計するため、得られた回答に誤差が生じる可能性があります。

その誤差は、標本誤差と呼ばれており、標本誤差の推定が100回のうち95回当たる、すなわちその度合いで正確さが保障できるという場合、信頼度95%と呼びます。

通常のアンケート調査の場合は、信頼度95%を用いるのが一般的であり、許容できる標本誤差の範囲は、5%未満が望ましいとされています。

※1…今回の調査では、16歳以上の岩倉市民である41,073人
(平成28年4月1日時点)

※2…今回の調査では、アンケート回収数である914人

(2) 標本誤差の計算式

母集団がN人、標本データがn人、ある選択肢の回答値がP%とすると、信頼度95%における、標本誤差E%の計算式(母集団が10,000人以上の場合)は、以下の通りとなります。

$$E=1.96 \sqrt{\frac{P(100-P)}{n}}$$

(3) 本アンケートでの標本誤差

本アンケート調査では、914人からの回答が得られており、例えば、ある選択肢の回答値が50%であった場合、標本誤差は約3.2%^{※3}となるため、母集団すなわち全市民の賛成率は、95%の確率で46.7%(50%-3.2%)から53.2%(50%+3.2%)の間にあると言えます。なお、標本誤差は、回答値が50%の時に最も高く、回答率が0%もしくは100%に近づくほど減少します。

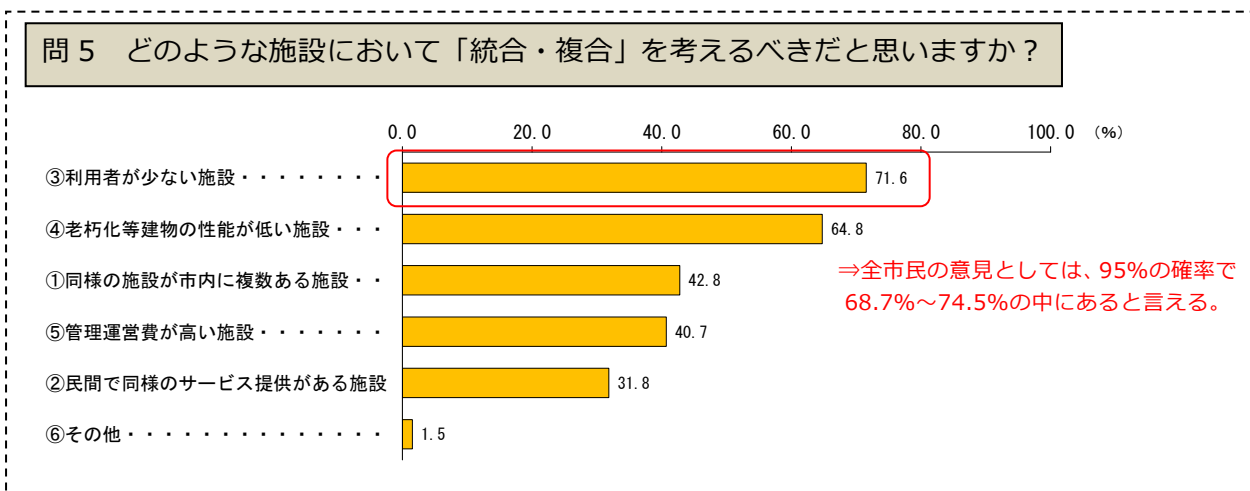
※3…標本誤差 $E=1.96 \times \sqrt{\{50 \times (100-50) / 914\}} = 3.242$

以上より、本アンケート調査では、標本誤差が最大でも約3.2%となり、許容できる標本誤差の範囲である5%未満に収まるため、母集団に対し妥当な標本データ数を得ることができたと言えます。

【本アンケートにおける標本誤差の事例】

問 5 の質問について、「③利用者が少ない施設は、統合・複合を考えるべき」と回答した人は全体の 71.6%でしたが、この場合の標本誤差^{※4} は約 2.9%となるため、母集団すなわち全市民の意見としては、95%の確率で 68.7% (71.6%-2.9%) から 74.5% (71.6%+2.9%) の間にあると言えます。

$$\text{※4} \dots \text{標本誤差 } E = 1.96 \times \sqrt{\{71.6 \times (100 - 71.6) / 914\}} = 2.923$$



(4) 本アンケートの発送数

本アンケートの実施にあたっては、信頼度を 95%、許容できる標本誤差を±3%として、以下の計算式より、約 1,000 人の標本データを得ることを目標として実施しました。

アンケートの発送数については、これまでの市の同種アンケートの回収率が概ね 40%であることを考慮し、約 1,000 人の標本データを得るために、2,500 人 (=1,000÷0.4) として設定しました。

● アンケートのサンプル数の算出方法

$$\frac{N}{\left(\frac{E}{K}\right)^2 \times \frac{N-1}{P(100-P)} + 1} = \frac{41,073(\text{人})}{\left(\frac{3\%}{1.96}\right)^2 \times \frac{41,073-1}{50\%(100-50\%)} + 1} = 1040.1$$

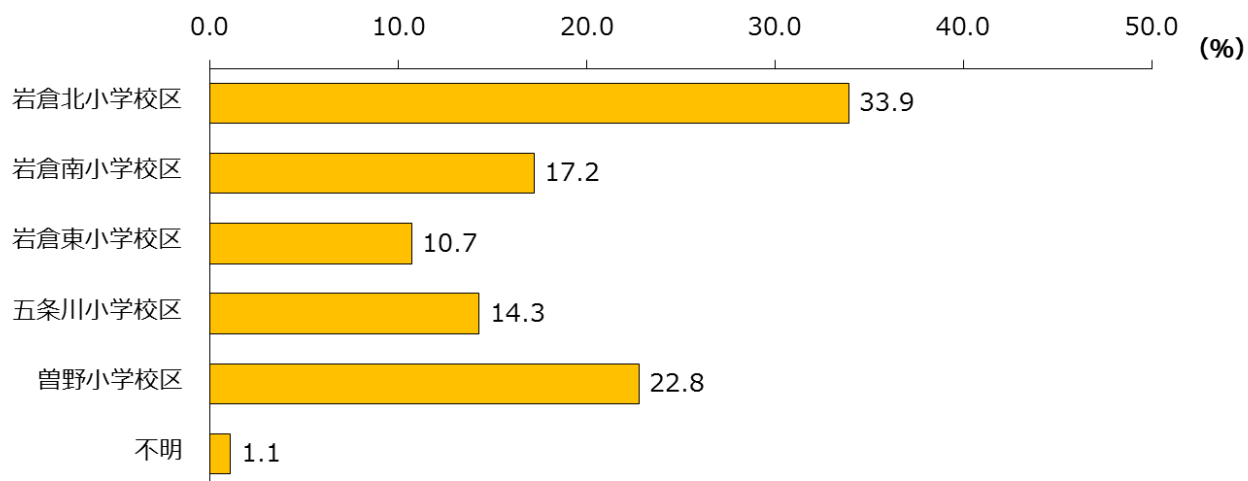
- N : 16 歳以上の人口数 (41,073[人])
- E : 許容できる標本誤差の範囲 (3[%])
- P : 想定する調査結果 = 50[%] (最大値)
- k : 信頼度係数 = 1.96 (信頼度 95%)

第2章 調査結果のまとめ

1 回答者の属性

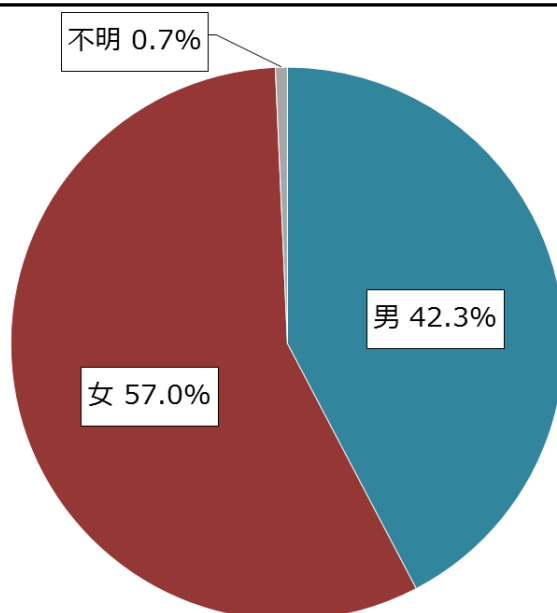
問1 ア お住まいの地区

回答者（914人）の住んでいる小学校区については、岩倉北小学校区が約3割と一番多く占めており、次いで曽野小学校区、岩倉南小学校区となっています。



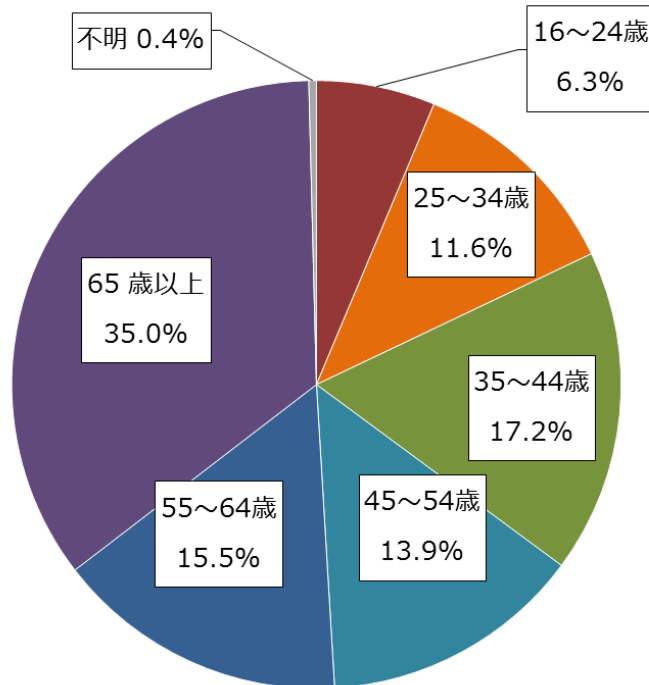
問1 イ 性別

回答者の性別は、女性が過半数を占めています。



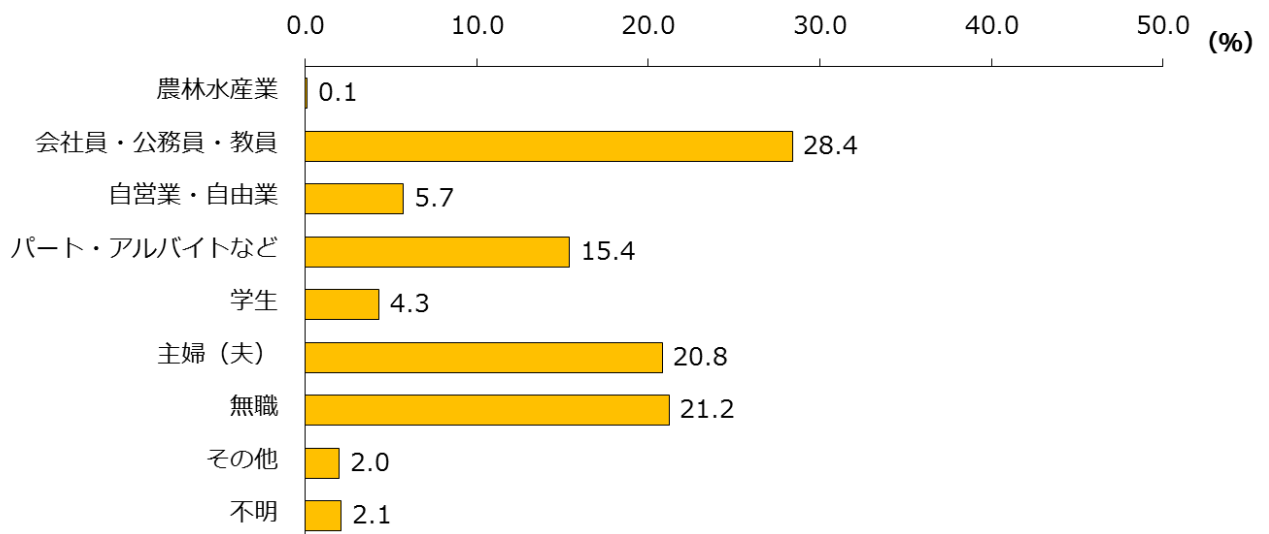
問1 ウ 年齢

回答者の年齢について、65歳以上が全体の約4割となっていますが、16～24歳と25～34歳は全体の約2割と少なくなっています。



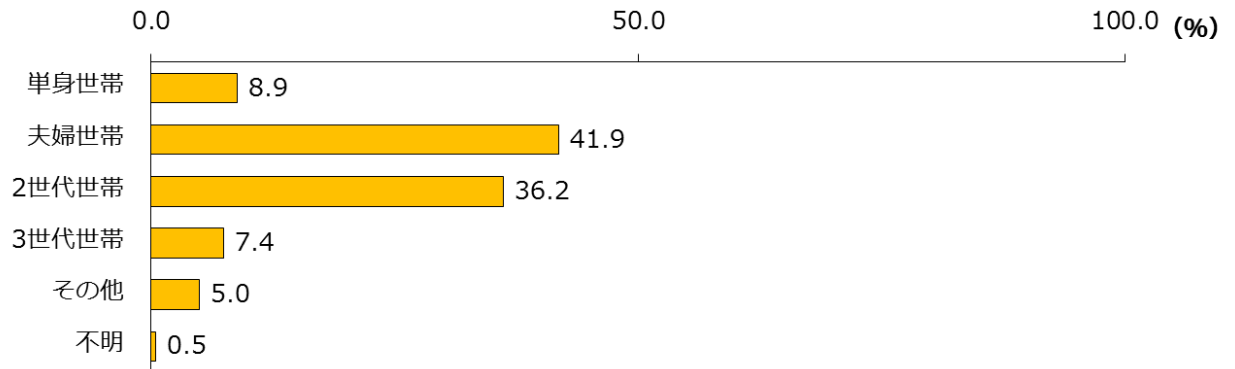
問1 エ 職業

回答者の職業については、会社員・公務員・教員が一番多く、約3割を占めており、次いで無職、主婦（夫）が多くなっています。



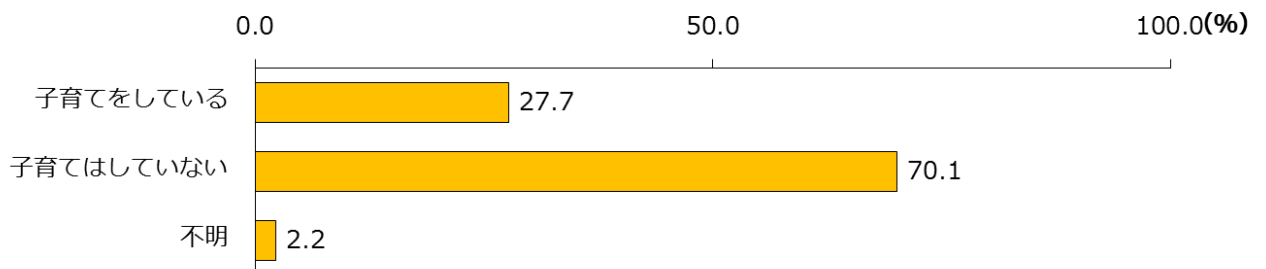
問 1 才 家族構成

回答者の家族構成については、夫婦世帯（41.9%）、2世代世帯（36.2%）が高く全体の約8割となっています。



問 1 カ 子育ての有無 ※大学に入学するまでの子どもを対象

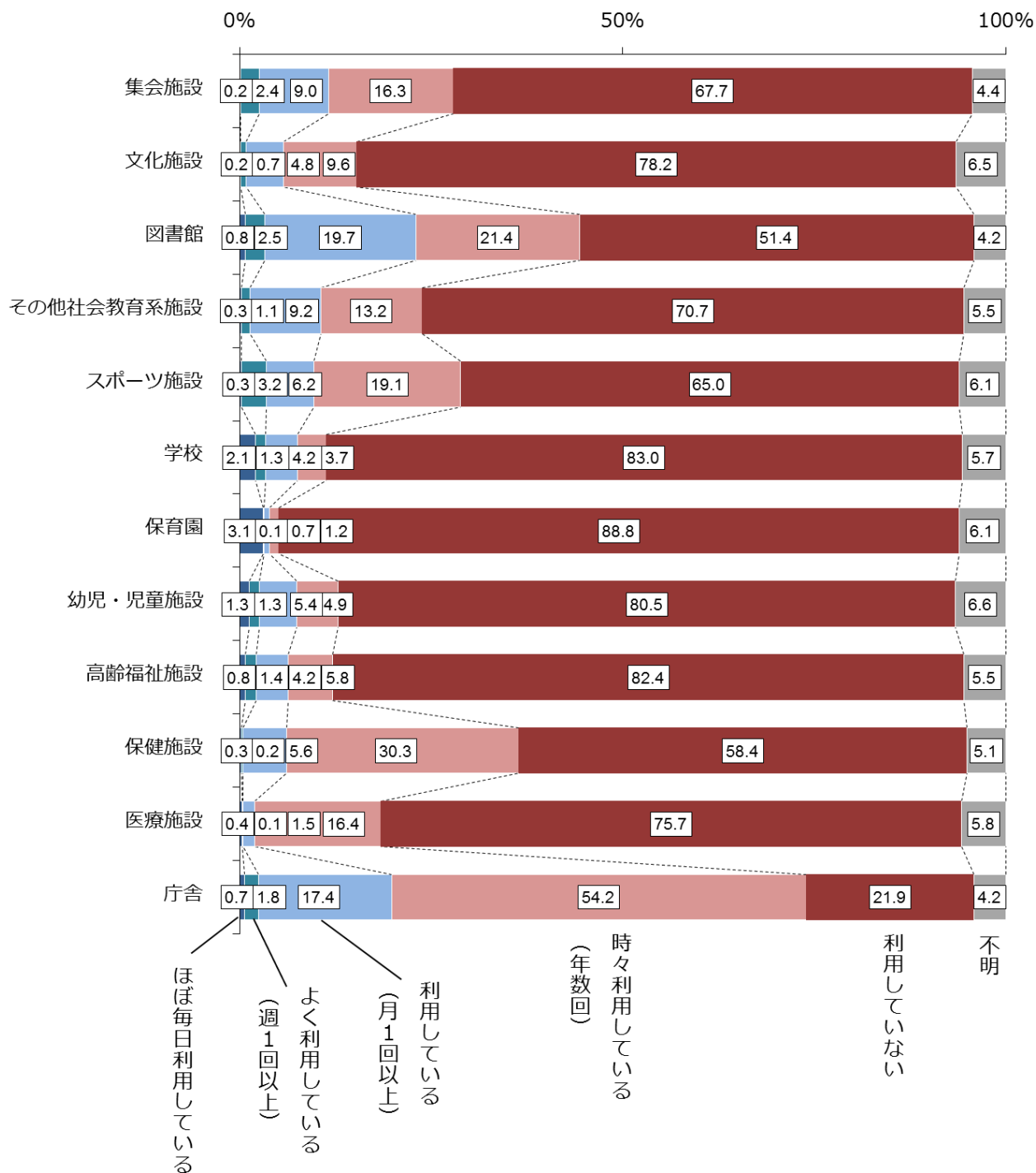
回答者の子育ての有無については、子育てをしていない方が多く、約7割を占めています。



2 公共施設の利用状況

問2 最近1年間に、岩倉市の公共施設をどのくらい利用したことがありますか。

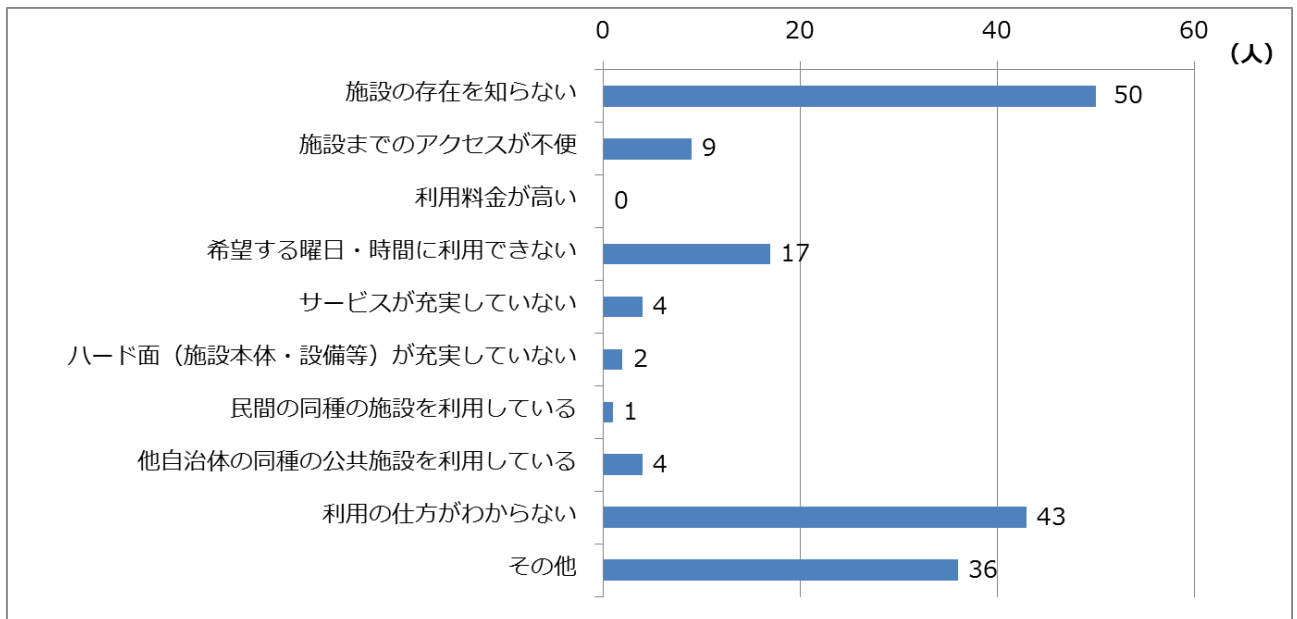
公共施設の利用頻度は全般に低く、過去1年間に1回も利用したことがないとの回答が、多くの施設分類で高い割合を示しています。また、市民の利用は、庁舎が一番多く、続いて図書館、保健施設の順に利用されており、利用者が特定される保育園や学校の利用が少なくなっています。



〔利用しない理由〕

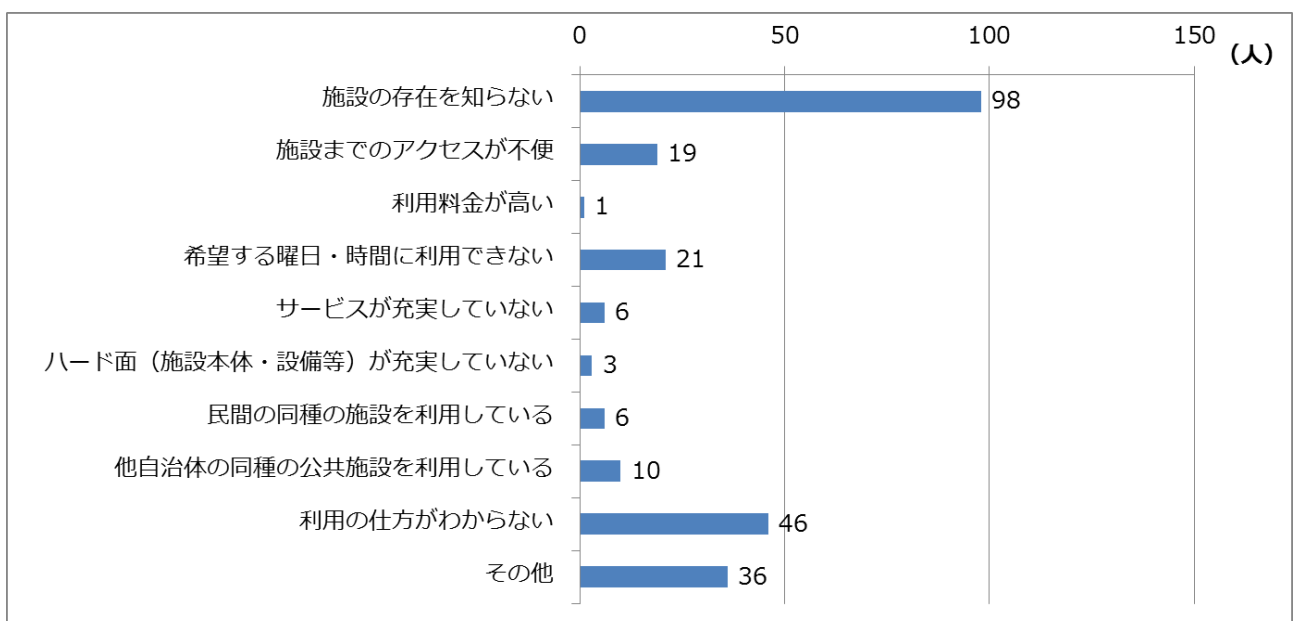
①集会施設

集会施設を利用しない理由について、「利用する必要がない」（569人）と「不明（無回答）」（101人）という回答を除いた集計結果を以下に示します。その中で、「施設の存在を知らない」、「利用の仕方がわからない」という理由が多いことがわかります。また、「その他」の内容として、「利用する目的がない」や「年齢的に興味のある行事がない」等の理由がありました。



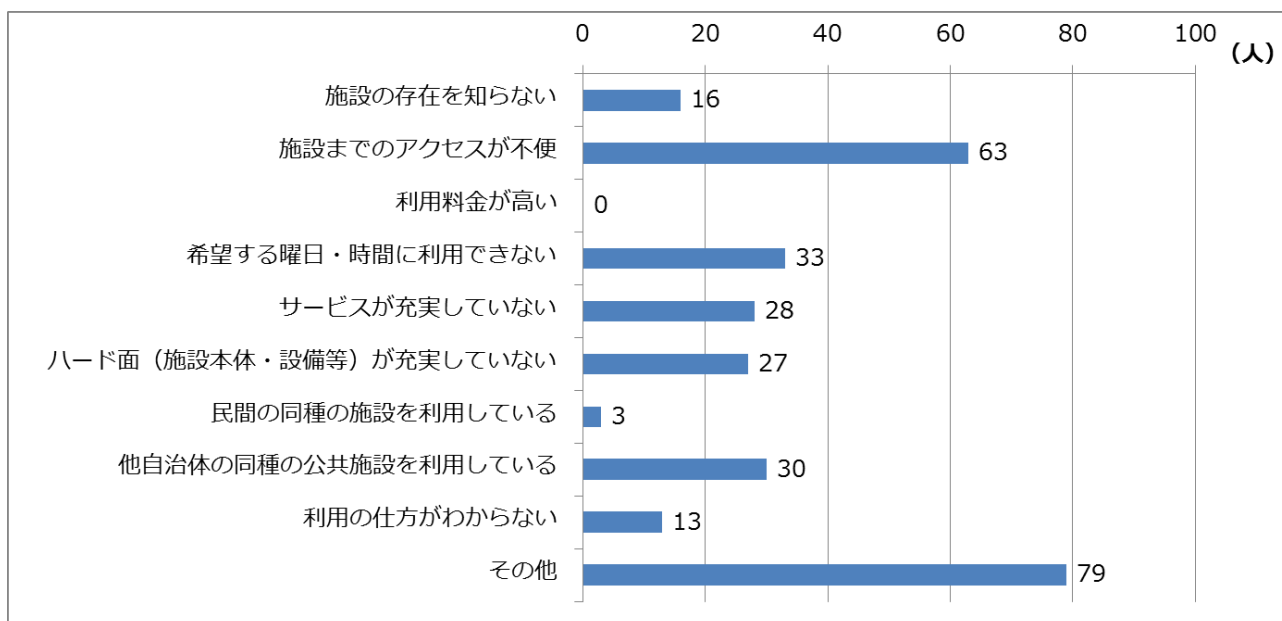
②文化施設

文化施設を利用しない理由について、「利用する必要がない」（545人）と「不明（無回答）」（105人）という回答を除いた集計結果を以下に示します。その中で「施設の存在を知らない」という理由が圧倒的に多いことがわかります。



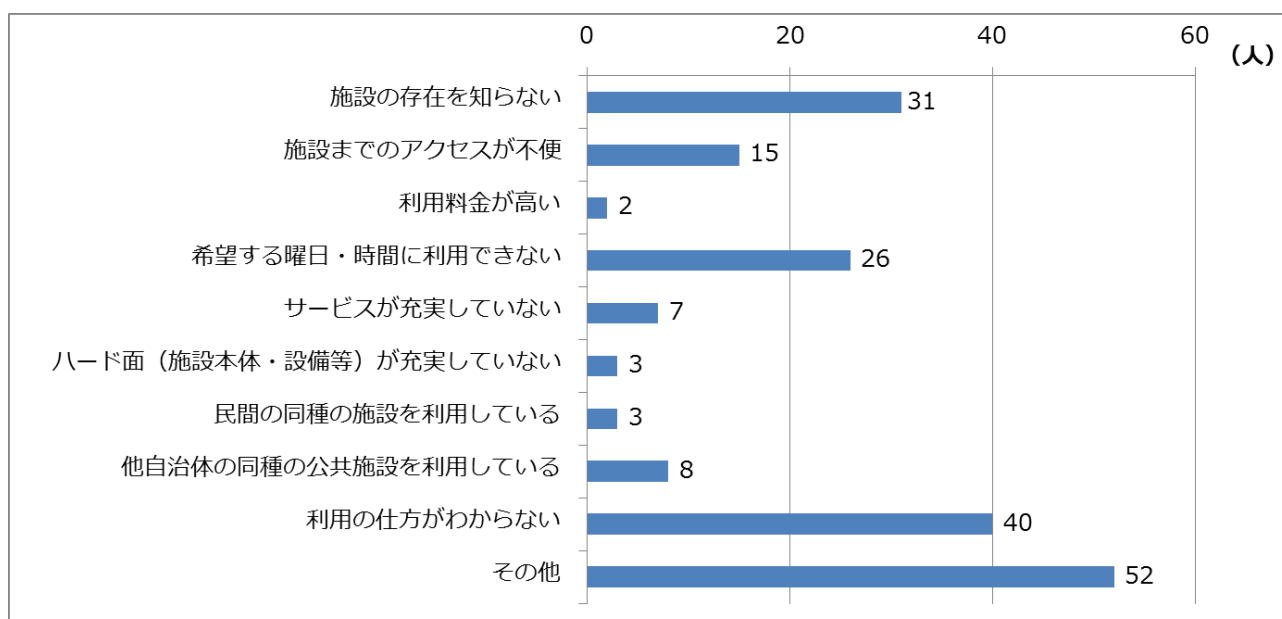
③図書館

図書館を利用しない理由について、「利用する必要がない」（333人）と「不明（無回答）」（120人）という回答を除いた集計結果を以下に示します。その中で「施設までのアクセスが不便」という理由が多いことがわかります。また、「その他」の内容として、「駐車スペースが少ない」や「読みたい本は購入する」等の理由がありました。



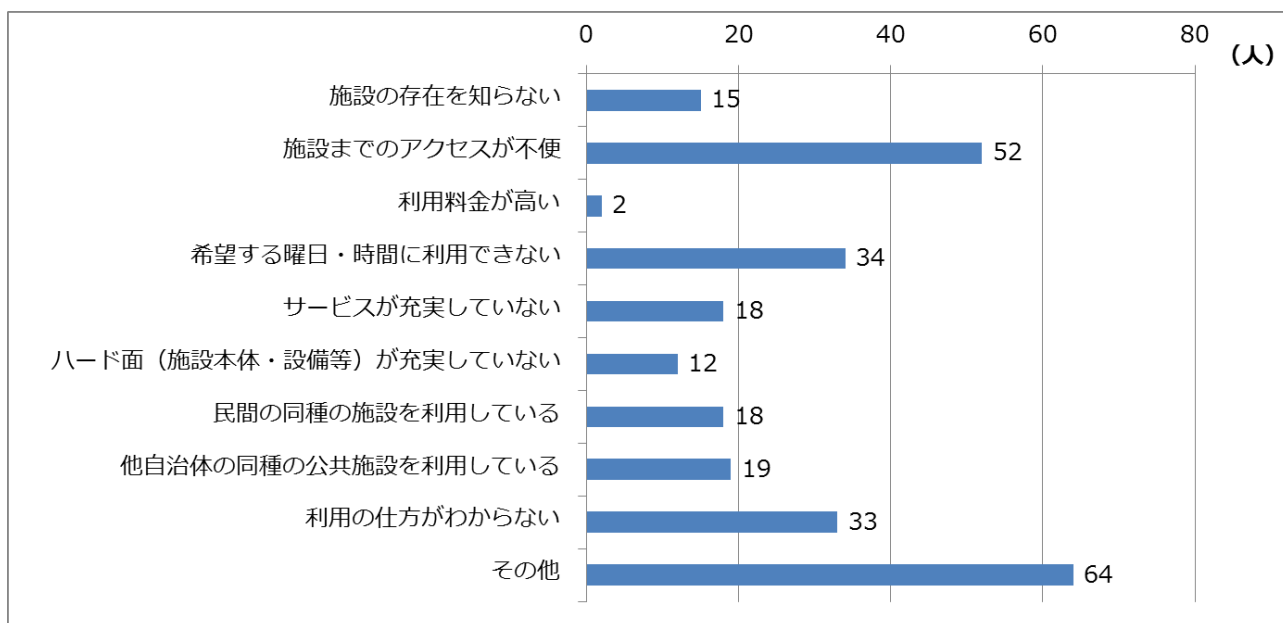
④その他社会教育系施設

その他社会教育系施設を利用しない理由について、「利用する必要がない」（532人）と「不明（無回答）」（116人）という回答を除いた集計結果を以下に示します。その中で特に「利用の仕方がわからない」という理由が多いことがわかります。また、「その他」の内容の多くが「利用する機会がない」というものでした。



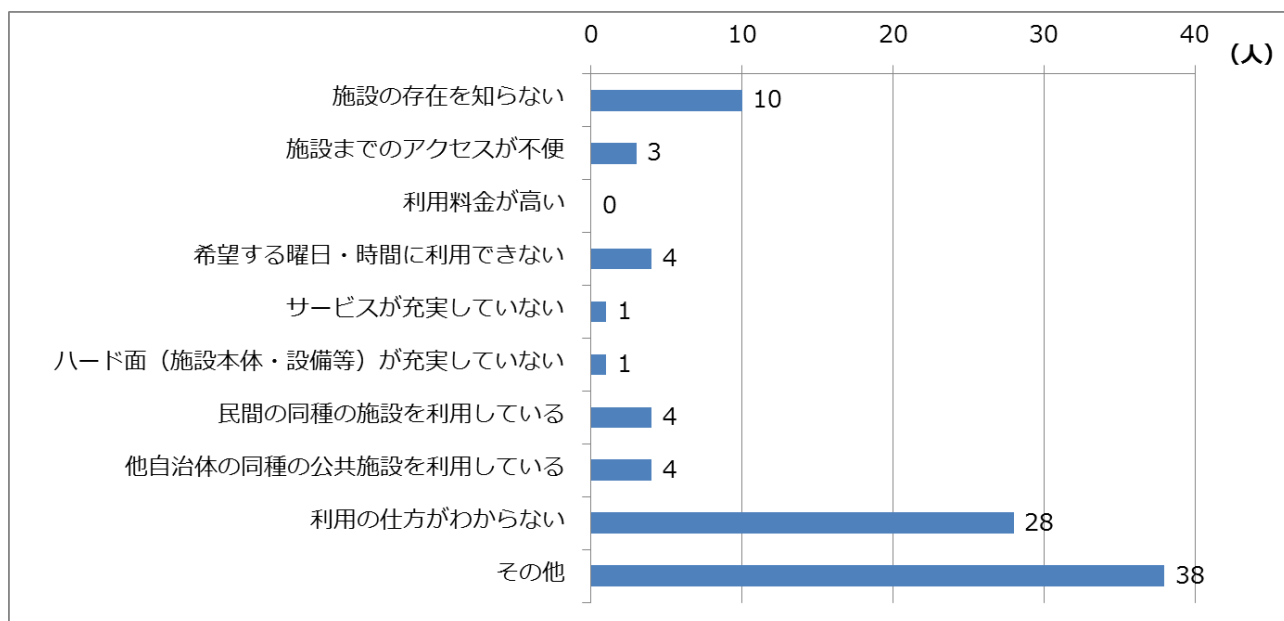
⑤スポーツ施設

スポーツ施設を利用しない理由について、「利用する必要がない」（470人）と「不明（無回答）」（119人）という回答を除いた集計結果を以下に示します。その中で特に「施設までのアクセスが不便」という理由が多いことがわかります。また、「その他」の内容として、「利用する時間がない」や「運動をしていない」等の理由がありました。



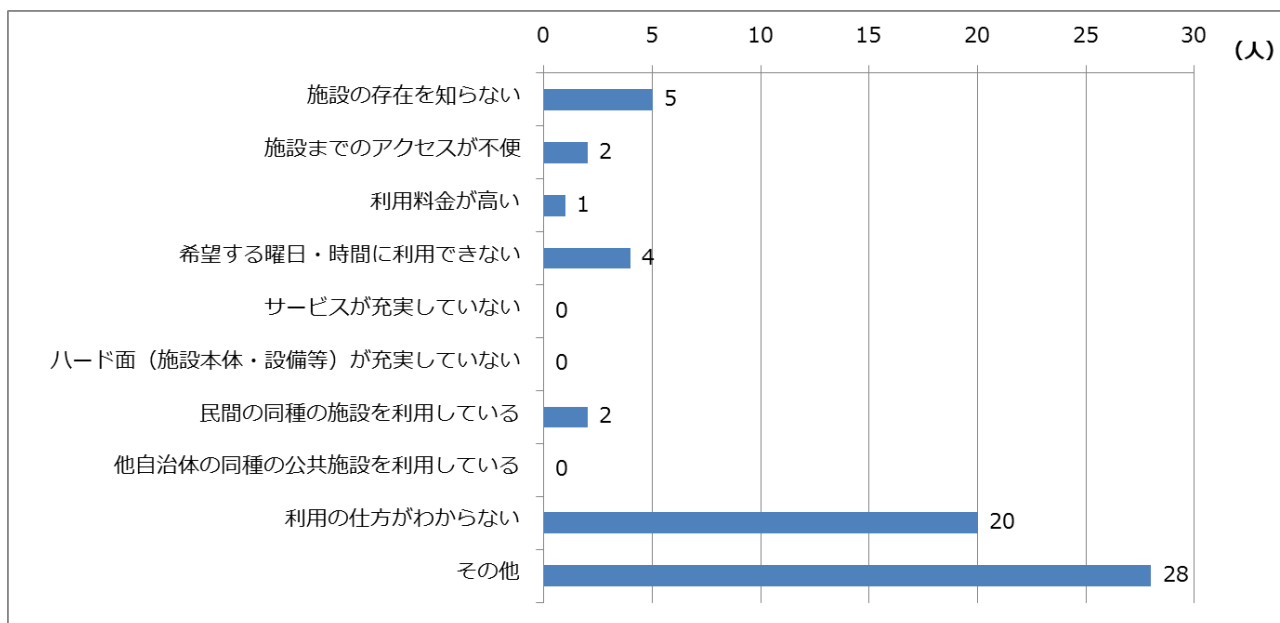
⑥学校

学校を利用しない理由について、「利用する必要がない」（644人）と「不明（無回答）」（98人）という回答を除いた集計結果を以下に示します。その中で「利用の仕方がわからない」という理由が圧倒的に多いことがわかります。また、「その他」の内容として、「小・中学生の子供がいない」や「一般開放しているのかわからない」等の理由がありました。



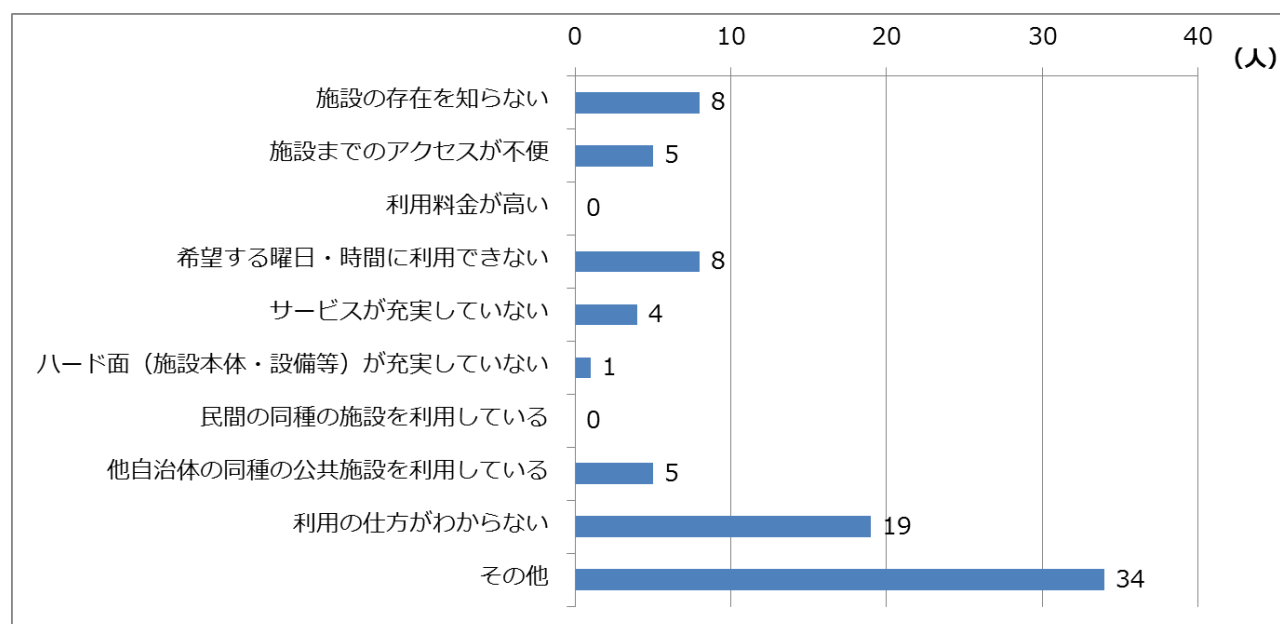
⑦ 保育園

保育園を利用しない理由について、「利用する必要がない」（695人）と「不明（無回答）」（99人）という回答を除いた集計結果を以下に示します。その中で特に「利用の仕方がわからない」という理由が圧倒的に多いことがわかります。また、「その他」の内容として、「保育園に通う子供がいない」という理由がありました。



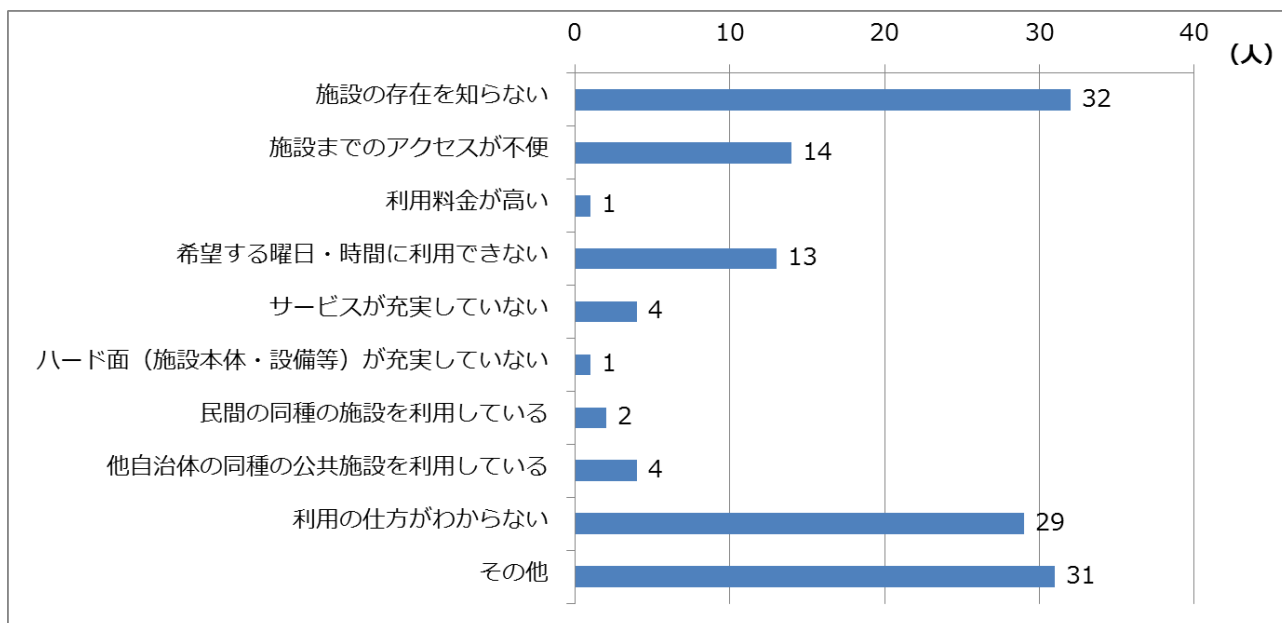
⑧ 幼児・児童施設

幼児・児童施設を利用しない理由について、「利用する必要がない」（633人）と「不明（無回答）」（106人）という回答を除いた集計結果を以下に示します。その中で「利用の仕方がわからない」という理由が多いことがわかります。また、「その他」の内容として、「幼児・児童施設に通う子供がいない」という理由がありました。



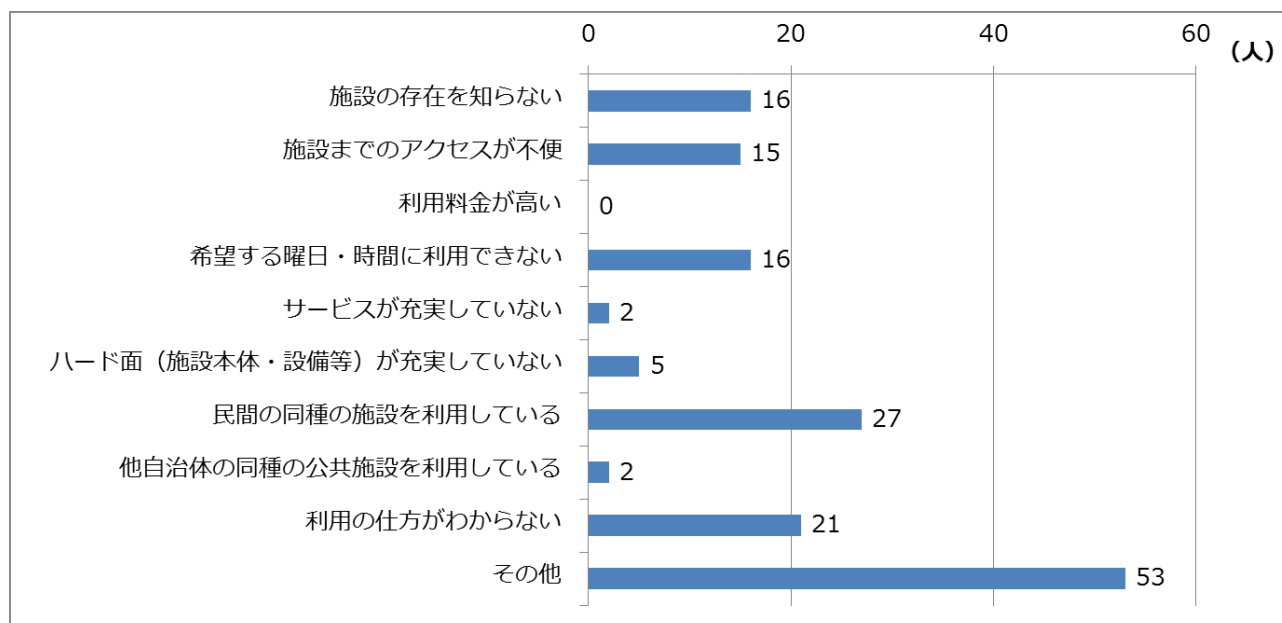
⑨高齢福祉施設

高齢福祉施設を利用しない理由について、「利用する必要がない」（628人）と「不明（無回答）」（105人）という回答を除いた集計結果を以下に示します。その中で「利用の仕方がわからない」、「施設の存在を知らない」という理由が多いことがわかります。また、「その他」の内容として、「自身が高齢者ではない」という理由がありました。



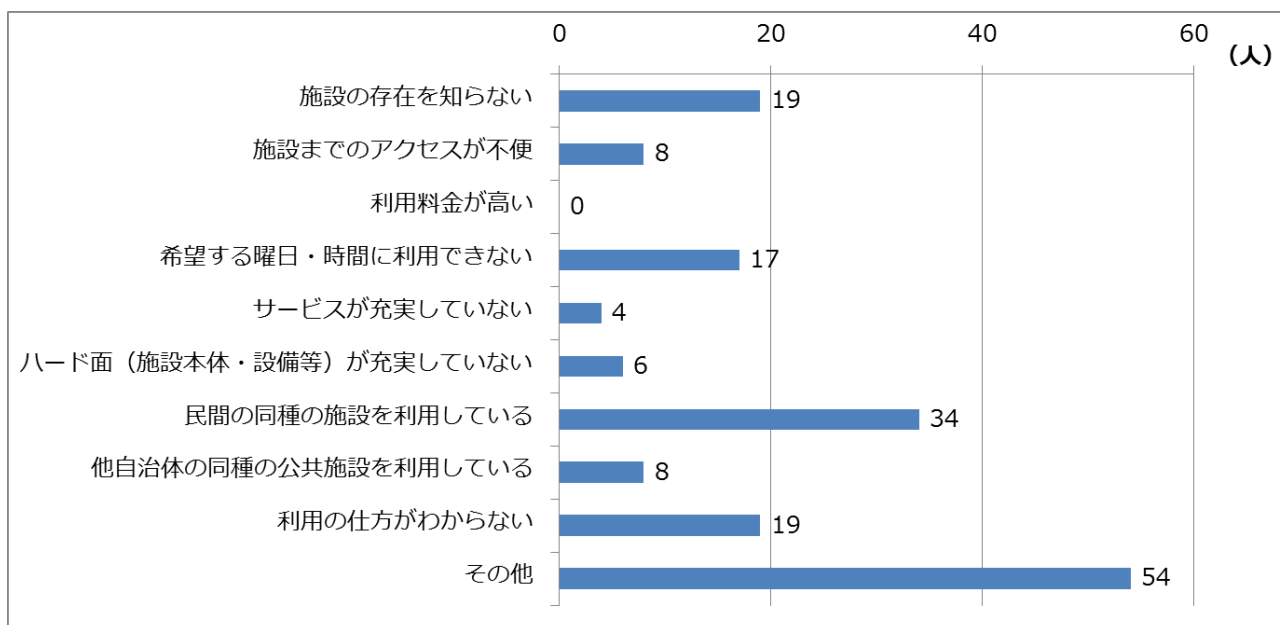
⑩保健施設

保健施設を利用しない理由について、「利用する必要がない」（515人）と「不明（無回答）」（188人）という回答を除いた集計結果を以下に示します。その中で「民間の同種の施設を利用している」という理由が多いことがわかります。また、「その他」の内容として、「かかりつけの病院や会社で検診を行う」という理由がありました。



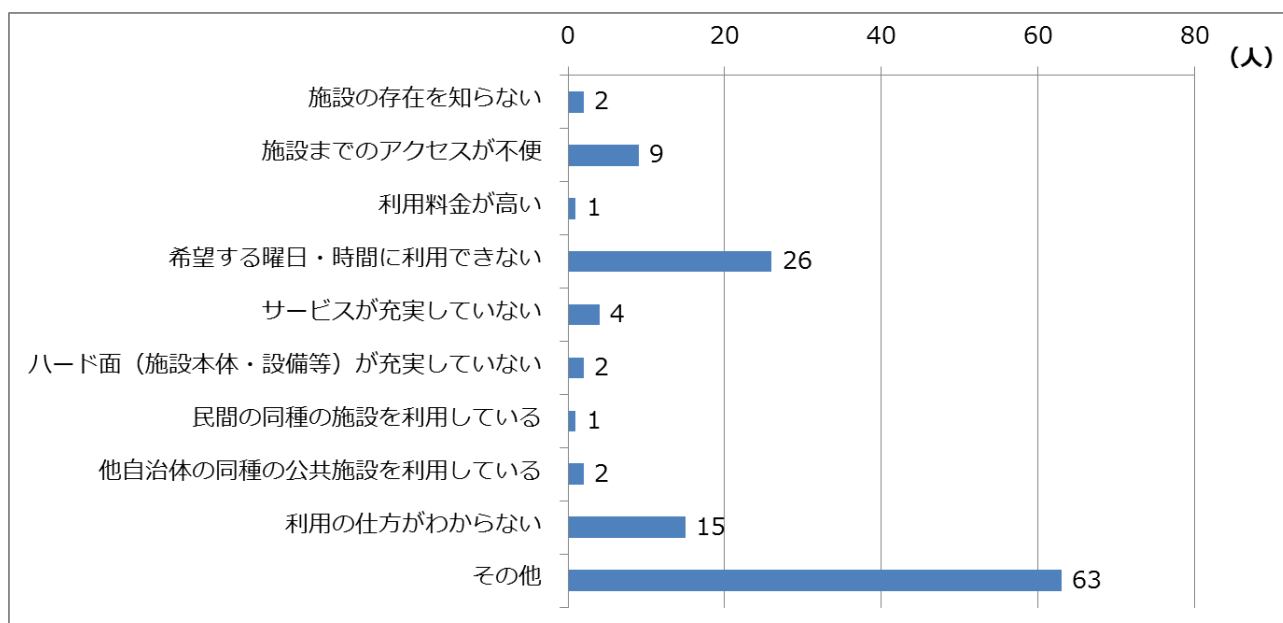
⑪ 医療施設

医療施設を利用しない理由について、「利用する必要がない」（574人）と「不明（無回答）」（147人）という回答を除いた集計結果を以下に示します。その中で「民間の同種の施設を利用している」という理由が多いことがわかります。また、「その他」の内容として、「休日に受診することが少ない」という理由がありました。



⑫ 庁舎

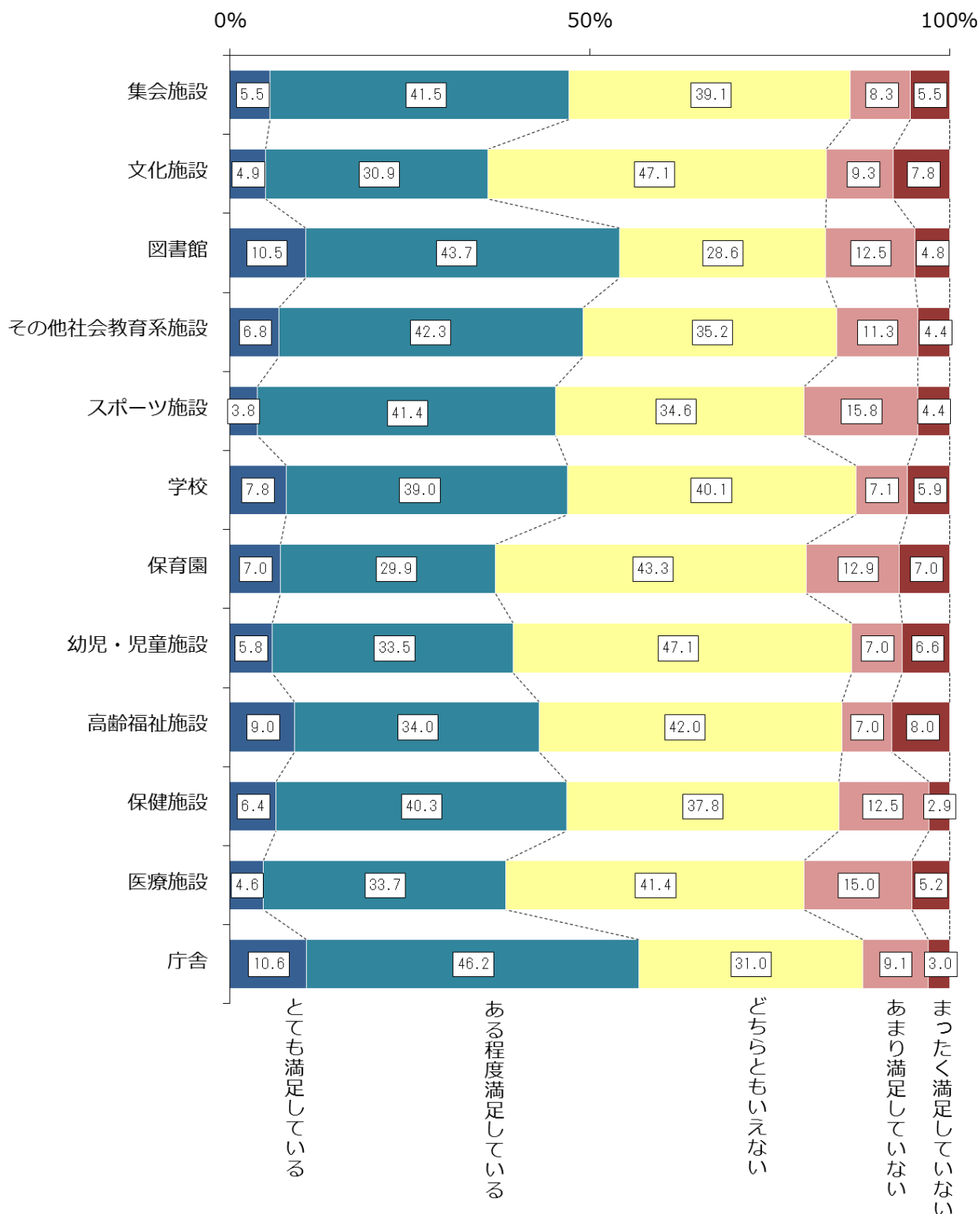
庁舎を利用しない理由について、「利用する必要がない」（398人）と「不明（無回答）」（224人）という回答を除いた集計結果を以下に示します。その中で「希望する曜日・時間に利用できない」という理由が多いことがわかります。また、「その他」の内容として、「書類提出時しか利用しない」という理由がありました。



3 公共施設の評価

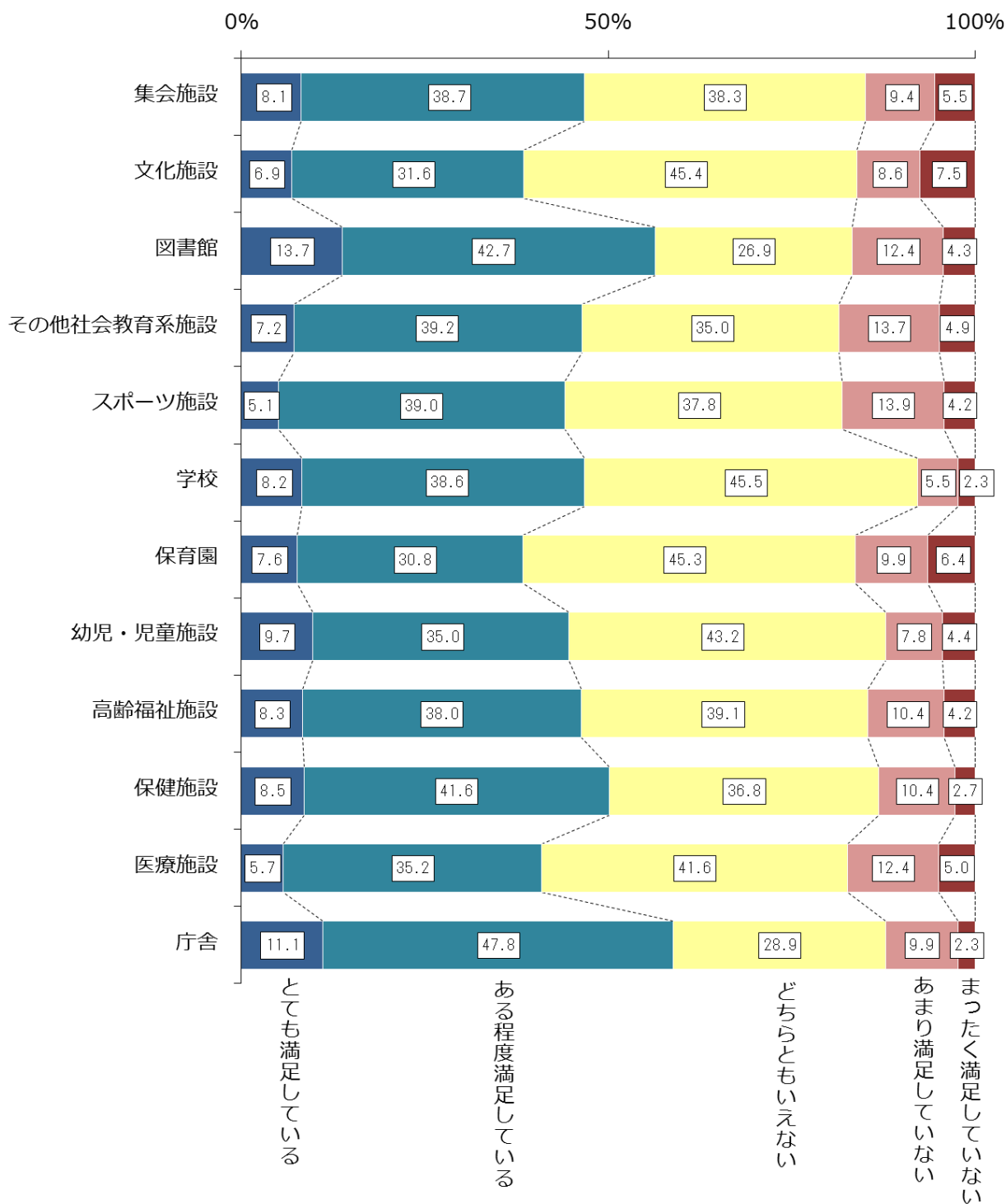
問 3① 公共施設の利用時間、人員配置などについてどのようにお考えですか？

庁舎は「とても満足している」「ある程度満足している」という意見が多く、全体の約 6 割を占めており、次いで図書館が多くなっています。また、スポーツ施設・保育園・医療施設は「あまり満足していない」「まったく満足していない」という意見が多く、全体の約 2 割と他の施設分類よりも多いことがわかります。



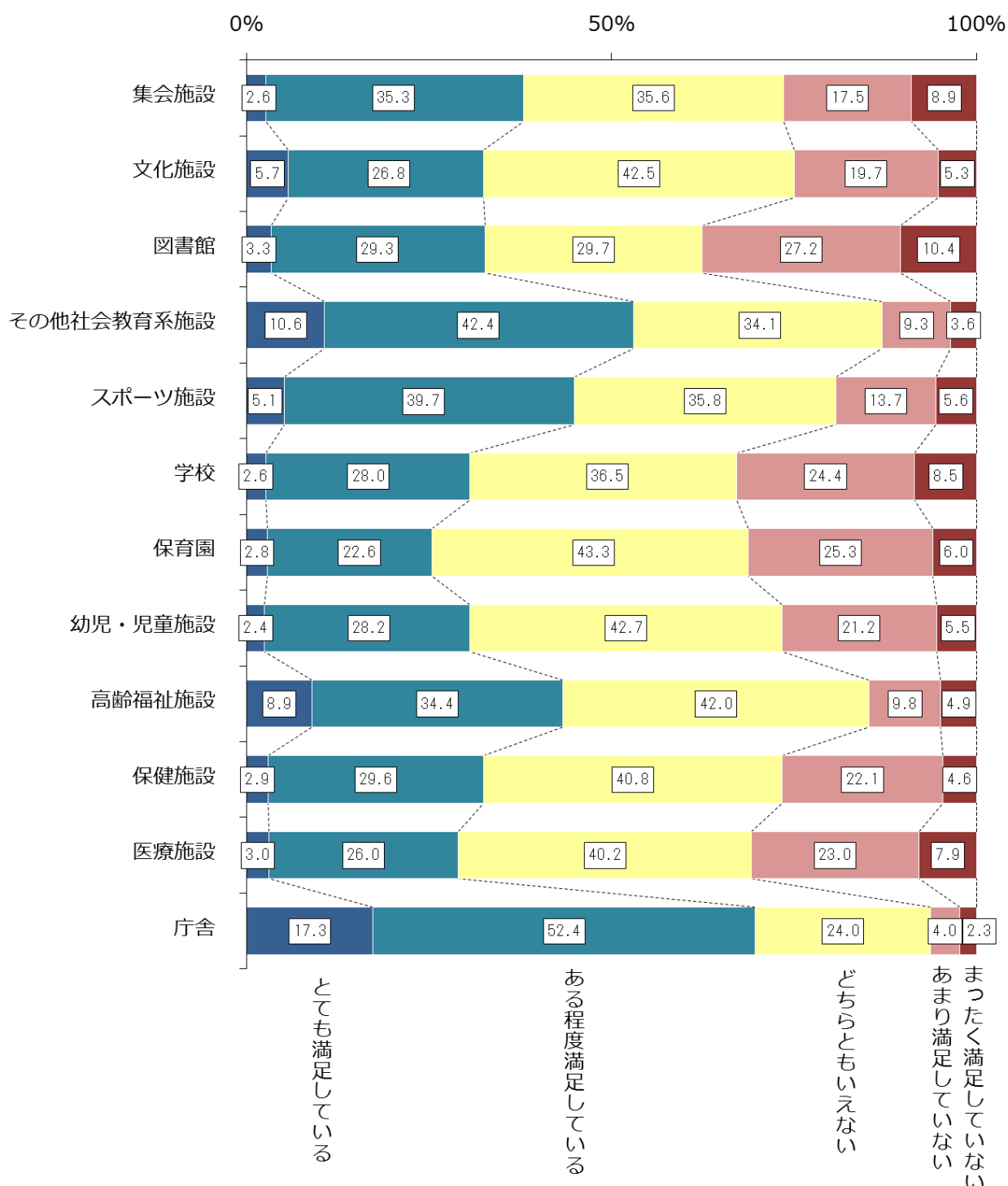
問 3② 公共施設の利用料金、サービス内容などについてどのようにお考えですか？

図書館と庁舎は「とても満足している」「ある程度満足している」という意見が多く、全体の約 6 割を占めています。また、その他社会教育系施設・スポーツ施設・医療施設では、「あまり満足していない」「まったく満足していない」という意見が全体の約 2 割と他の施設分類よりも少し多いことがわかります。



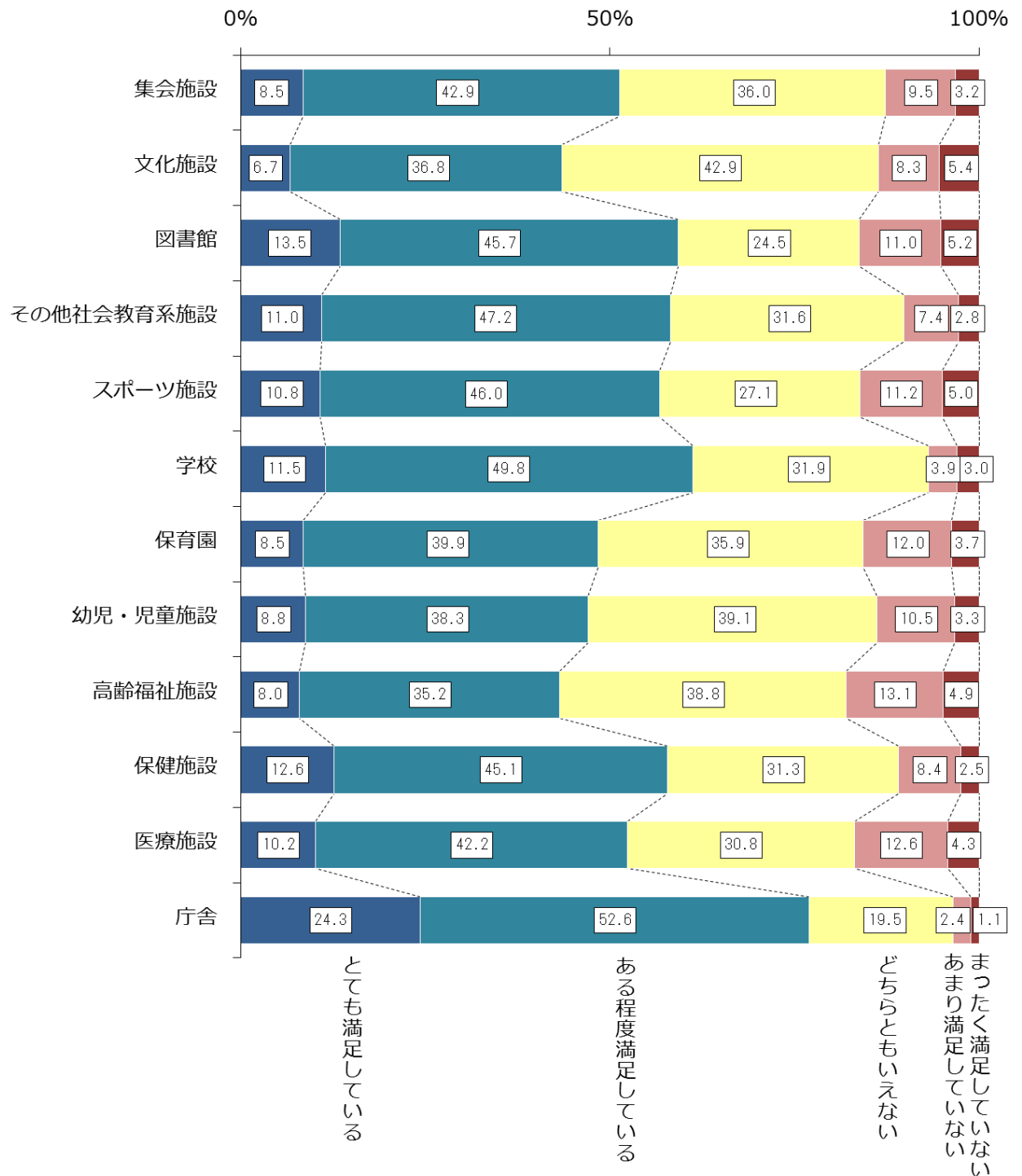
問 3③ 公共施設のハード面（建物本体や設備など）の規模や使い勝手、安全性、維持修繕状況などなどについてどのようにお考えですか？

庁舎は「とても満足している」「ある程度満足している」という意見が多く、全体の約 7 割を占めており、次いでその他社会教育系施設が多くなっています。また、図書館・学校・保育園・医療施設は「あまり満足していない」「まったく満足していない」という意見の合計が、「とても満足している」「ある程度満足している」という意見の合計を上回っていることがわかります。



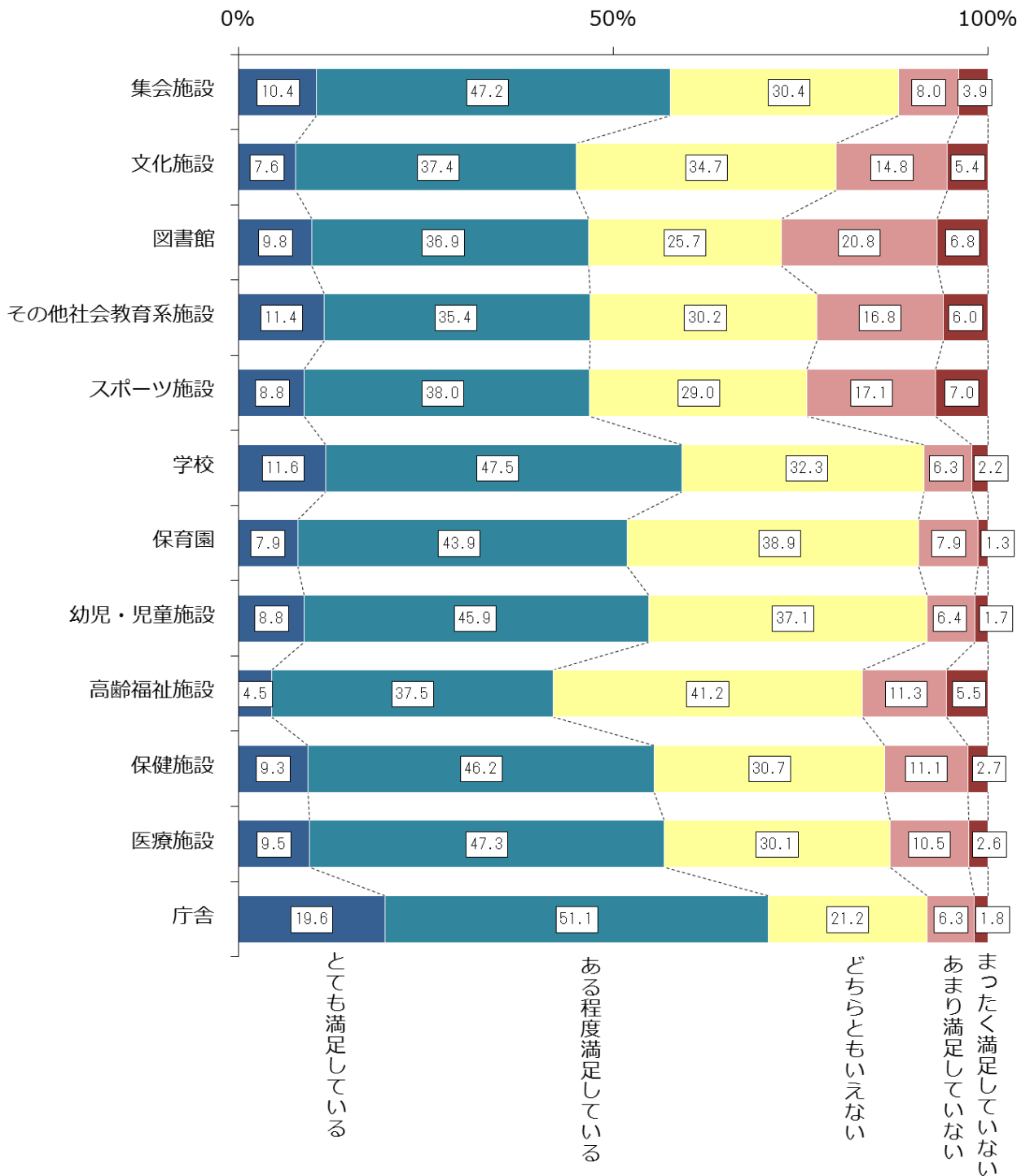
問 3④ 公共施設の施設数についてどのようにお考えですか？

庁舎は「とても満足している」「ある程度満足している」という意見が多く、全体の約 8 割を占めており、次いで学校が多くなっています。また、高齢福祉施設・医療施設では、「あまり満足していない」「まったく満足していない」という意見が全体の約 2 割と他の施設分類よりも少し多いことがわかります。



問 3⑤ 公共施設のアクセスについてどのようにお考えですか？

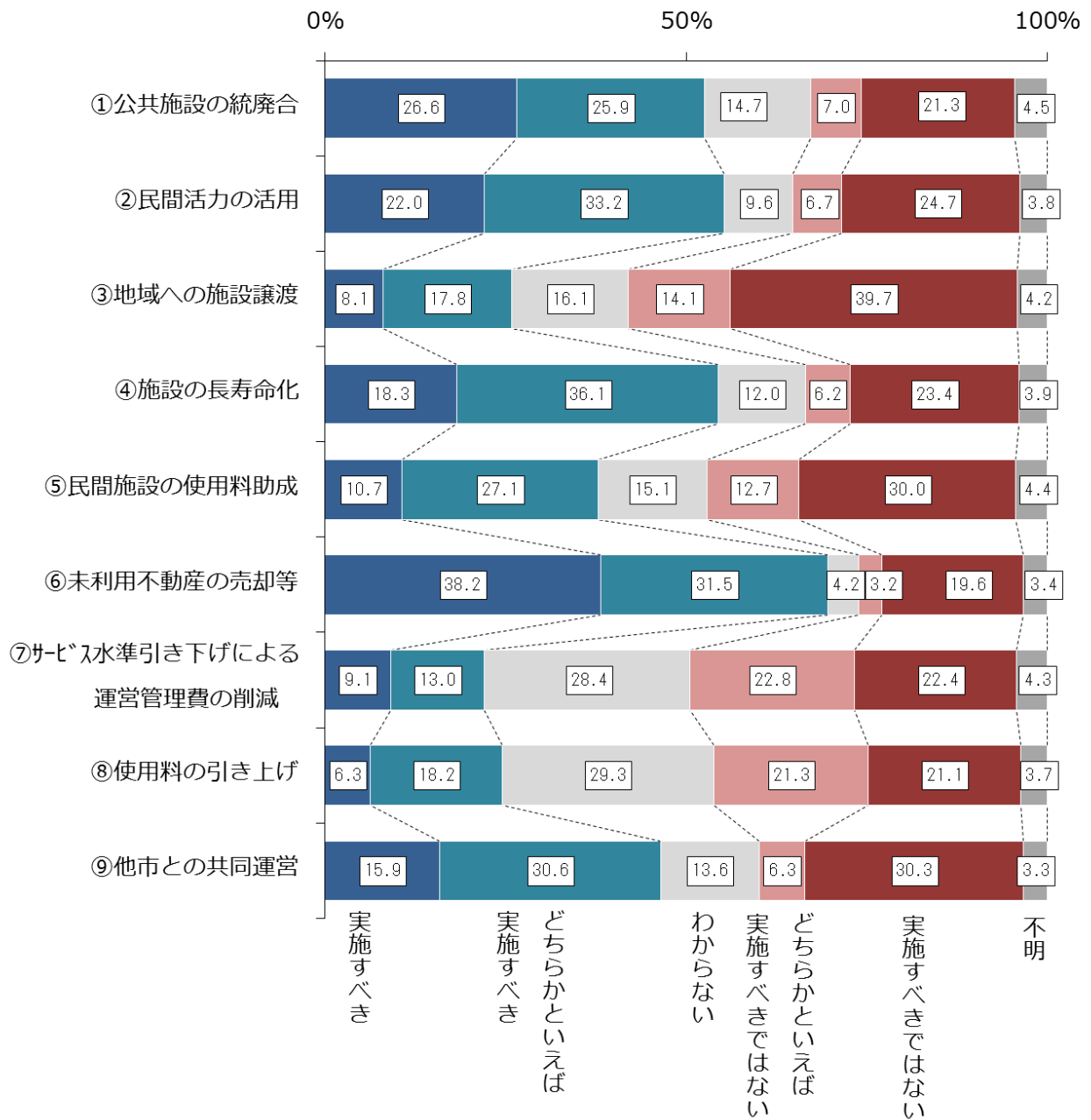
庁舎は「とても満足している」「ある程度満足している」という意見が多く、全体の約 7 割を占めており、次いで学校が多くなっています。また、図書館は「あまり満足していない」「まったく満足していない」という意見が多く、全体の約 3 割と他の施設分類よりも多い結果となっています。



4 今後の公共施設のあり方

問4 今後の公共施設のあり方についてどのようにお考えですか？

未利用不動産の売却等や民間活力の導入や施設の統廃合、長寿命化といった、公共施設の最適化に向けた方策について、多くの方が賛成と考えています。しかし、地域への施設譲渡やサービス水準引き下げによる管理運営費の削減等、経済的な負担やサービスの質の低下が生じる方策については、過半数以上の方が反対と考えていることがわかります。



問5 どのような施設において「統合・複合」を考えるべきだと思いますか？

過半数以上の方が、低利用率な施設、耐震性能が低い施設について、複合・統合を検討すべきと評価しています。

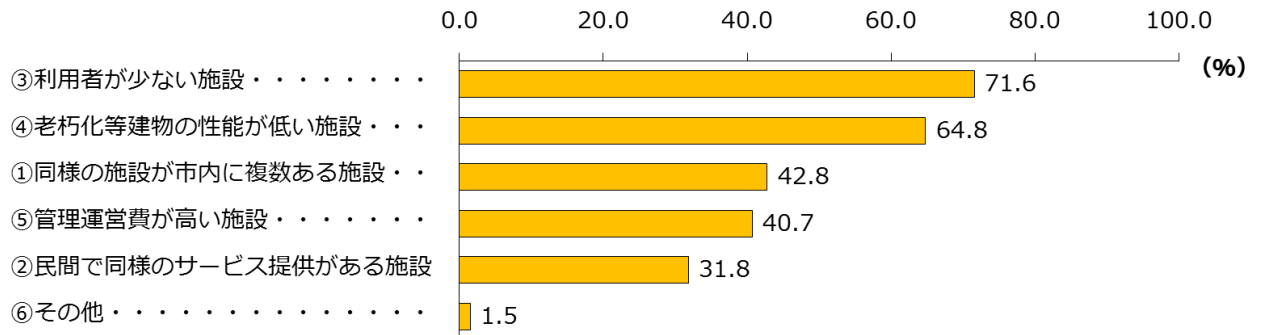


表2-1 統合・複合に関するその他の意見

その他
・現状視点のみで判断せず将来的展望を見据えて、進歩的に考察の必要あり
・高齢者、子どもたちがお互い関われるように統合複合できるもの
・図書館と市民プラザは同じ敷地にある古い建物ですね。図書館は市民プラザ（旧公民館）の駐車場をつぶして建てましたね。どちらの施設を利用する人も駐車場に困っています。複合して地下に大きな（2～3階分）駐車場にして大きな建物にして欲しいです。
・無駄の排除
・統合して集会所やふれあいの場が遠くなると高齢者が行きづらい。高齢者が触れるからこそ、集会所、憩いの場、催し物が必要となる
・休日診療所の一部を民間にテナントして設備を共同利用するなど
・やるにしてもお金かかるよね。やらない方がいい。
・各施設の利用は数回のため、何も判らない
・5.人件費や光熱費などの管理運営費が高い施設→低くするように努力する
・公共施設についてはムダな面が多いのが常ではないか？
・小学校で使われてない教室をもっと利用し、保育園・児童館・ふれあいセンター等地域がふれあえる場所にすると良いと思う。市中心でなければとくに！
・市民プラザの様に団体登録されていない一般市民が使えないような設備（PC,印刷機等）があるがそれを公共と言えるのか？と思う。
・取り壊しを行い、他の運用をすればいいのでは？
・地域にまとめると遠くなるので足腰の弱い私は大変
・市役所におまかせ致します
・利用してないのでわからない
・複合化はやめたほうがよい、それぞれの機能を保つことが難しくなる場合がある
・どの施設も利用する年齢ではありません 91 才
・各公共施設の利用頻度、利用人数を把握し、ほとんど使われていないのであれば、閉鎖しても良いと思われる。

その他

・統廃合により施設数を減らすことには大賛成です。小さい市なのに施設の数が多いと思います。施設運営にはボランティアの活用も、コスト削減につながるのではないのでしょうか。

・施設のものによって異なるため、一概に答えることはできないと思います。

・財政負担の軽減のために、公共施設の数や内容の低減を図るのは、必ずしも得策とは考えません。

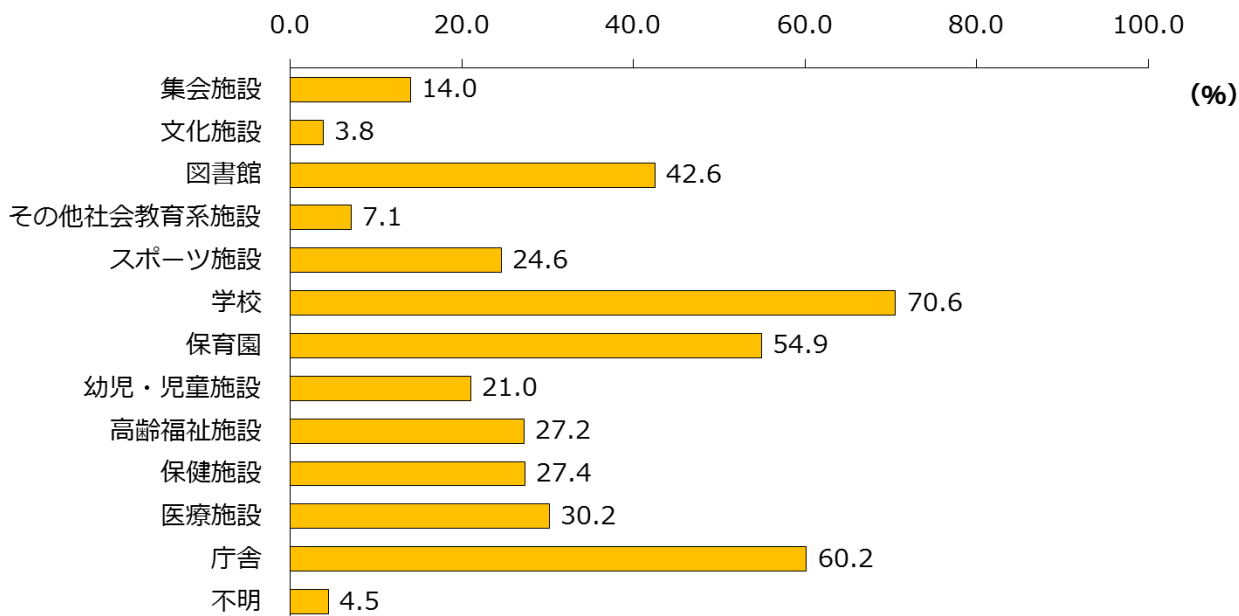
・利用家庭の調査分析を含め、ソフト面からの最善策の費用削減、適正運用を図るべきと考えます。

・しなくてよい

・選択させることが間違い

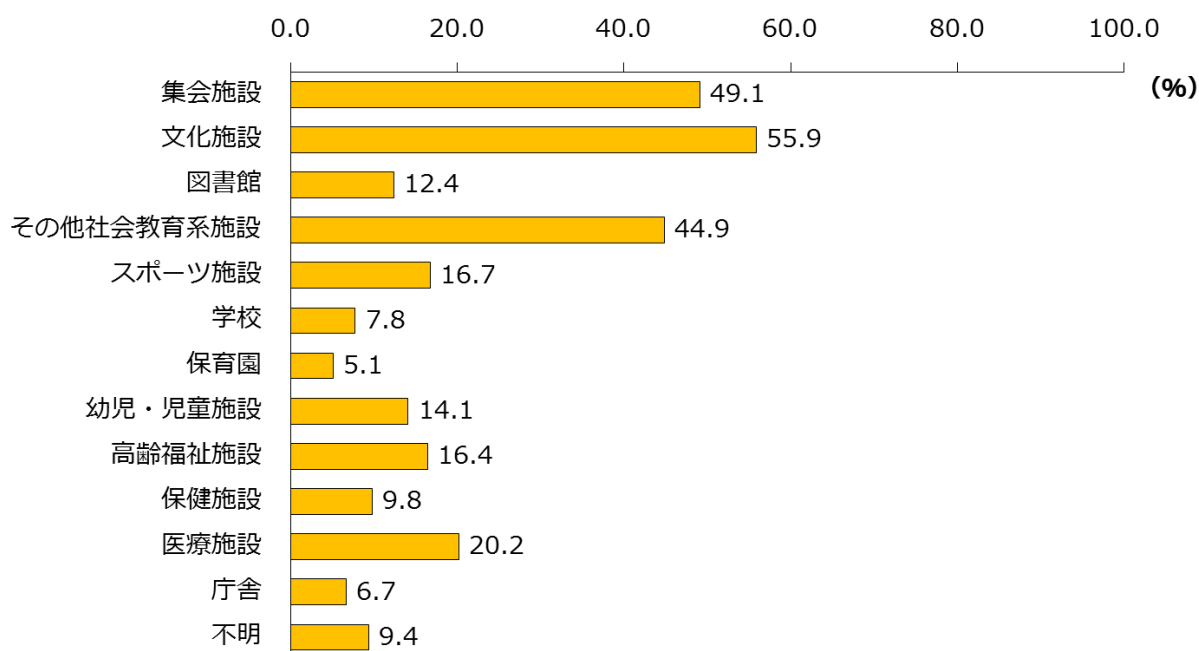
問 6①あなたが今後も維持（保有）すべきだと思う公共施設を教えてください。

学校や保育園、庁舎など、不特定多数の市民が利用できる施設や教育に関わる施設について、維持（保有）を図るべきだという意見が多いことがわかります。



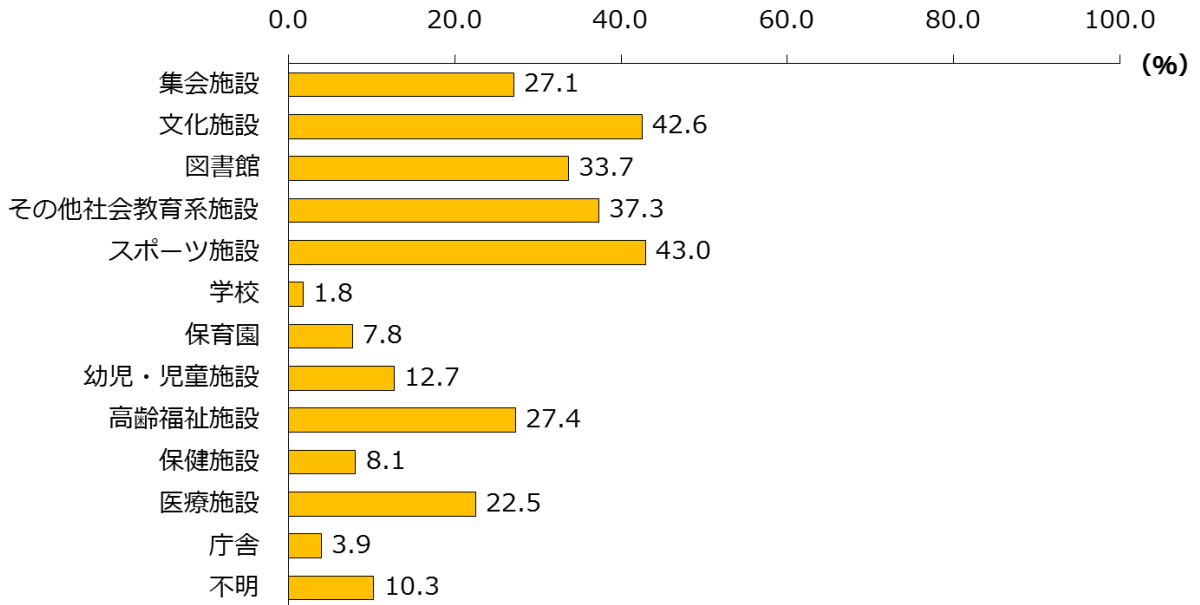
問 6②あなたが今後、統合・削減していくべきだと思う施設を教えてください。

集会施設や文化施設、その他社会教育系施設など、不特定多数の市民が利用できる施設について、今後統合・削減していくべきだという意見が多いことがわかります。



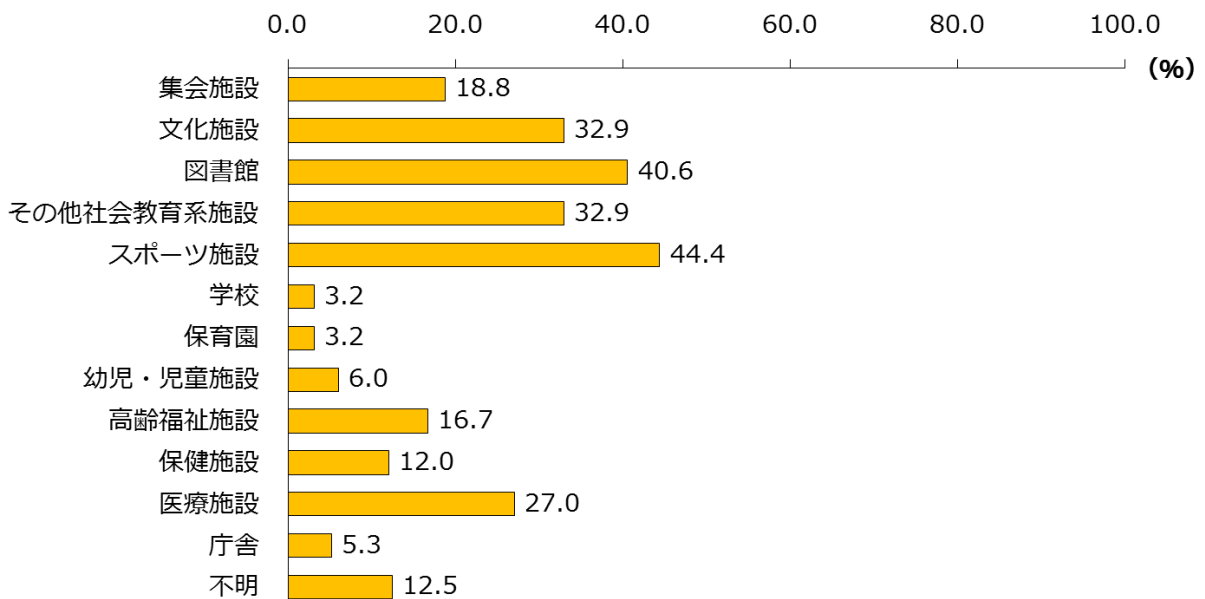
問 7 今後、民間への転換、または管理運営してもよいと思う施設を教えてください。

文化施設やスポーツ施設など、定期的に利用し、かつ利用料金の発生する施設についての民間転用に対して賛成という意見が多いことがわかります。



問 8 近隣自治体の施設を使用してもよいと思うものについて教えてください。

図書館やスポーツ施設など、不特定多数の市民が利用できる施設の広域利用に対して賛成という意見が多いことがわかります。



5 自由意見

市民アンケートの自由意見を、記載内容ごとに大きく以下の6項目に分類し、集計し、そのうち代表的な意見やその他の意見を抜粋し記載しています。なお、公共施設のあり方、公共施設のあり方・現状においては、施設分類ごとに意見をまとめています。

<自由意見の記載内容>

分類	人数
公共施設のあり方・現状に関する意見	185
職員のあり方に関する意見	8
交通機関に関する意見	16
アンケートに対する意見	19
その他	20
特になし、分からない	8

(1) 公共施設のあり方・現状に関する意見

① 施設全体

・公共施設の運営管理も、もっと合理化を進めていかないといけない。必要、不必要を判断することや、統合等を考えるプロセスに、もっと民間で会社経営をしている人の意見を聞いたり、人材として組み入れることももっと進めるべき。
・災害に強い町づくりは必要。
・老人が増えるのなら、開き直って、「老後に住みたい町 No.1」を目指し、老人に特化して町づくりしてみてもどうか。「老人の、老人による、老人のための」運営をしたら、逆に若い人は安心して働ける環境になりそう。
・人口増、活気ある市にすることを真剣に考えてほしい。
・ユニバーサルデザインで長く使える公共ならではの『公共の施設』を維持することを考えてほしい。住みたいまち岩倉！ 繁栄していけるよう頑張りましょう。
・設問に出てくる公共施設は統合するも縮減するも必要不可欠なもの。ここは創意工夫して知恵を出してほしい。魅力のある街づくりをして、市外からも人が集まる総合的な都市計画を期待しています。
・働く世代が働けるようにして頂けたら幸いです。それが高齢者の方を支えていく事にもつながる。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子社会のため、子どもの施設を統廃合することだけはやめてほしい。お金がないからこそ、子どもたちには十分な教育や環境を与えてほしいと思います。その子どもたちに今の大人は必ず支えてもらわなければならないから。
<ul style="list-style-type: none"> ・ これからの時代は貸会議室で市も収入を得る必要があると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ もっと仕事をしている人に優しい施設があるといいと思います
<ul style="list-style-type: none"> ・ 岩倉は本当に子どもを育てやすい地域だと思うので、子育て世代が他の自治体に流出しないようなサービスをぜひ検討いただきたいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理しやすい施設ではなく、市民が利用しやすい施設であるためにはどうすれば良かを常に考える必要があると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後は重点方式で、例えば、子育て、老後にやさしい、「どこに負けない岩倉」をアピールできるような対策を講じてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の新設にあたっては、「見た目」に金をかけるのではなく、使い勝手、メンテナンス性、ランニングコスト等の「質」を重視し、できるだけシンプルなものにすべき。
<ul style="list-style-type: none"> ・ マイナンバーと自治体間ネットワークの活用で、住民票発行や福祉サービスの申込受付をコンビニ等のみに絞り、相談窓口を集約することや、健常者の利用する施設は、シャトルバスのみを提供するなどして、他市や民間に依頼する。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の配置に隔たりがあり、南部にとっては恩恵が少なく思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設の利用度が低い理由として、市民等の理解不足があります。各施設のPRをもっとしていただき、利用頻度を高め、存続していただきたいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用される方々にもっと受益者負担をお願いできないでしょうか？公共施設を維持したければ、それ相応の負担が必要。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 私は足が不自由です。10年間ペーパードライバーなので、主人がいないと移動できません。公共施設は1人で行ける人だけのものだと思っています。

② 集会施設

<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健施設、集会施設、図書館は市役所庁舎内に収容すればよいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 集会を開く時に児童館や生涯学習センター等の会議室でできるのではないかな。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 集会施設もそんなに数はいらなと思います。1件ずつ見ていて、どこも古い、耐久性に不安があります。災害・地震等の避難が必要な時に、避難先に不安がある施設が多いと思っています。

③ 文化施設

- ・不定期に必要なになる施設（文化施設など）は、他の学校等の施設を活用するのもよいのでは。
- ・スポーツ施設、文化施設、社会教育系施設は近隣市町村と共用すれば良い。
- ・集会施設もそんなに数はいらなと思います。1件ずつ見ている、どこも古い、耐久性に不安があります。災害・地震等の避難が必要な時に、避難先に不安がある施設が多いと思っています。
- ・岩倉市民プラザとか希望の家等、どこにあり、何をやる所か知らなすぎました。

④ 図書館

- ・図書館の充実を求める。近隣自治体と助け合って運営するのもありだと思ふ。
- ・書館は電子書籍を活用して、児童書などの一部を除いて実物を減らし、知への窓口としての機能を強化、資源を集中する。近隣の図書館の宅配サービスは、レンタルサービスと連携して安価に提供する。
- ・図書館は駐車場が不足しているので、増設するか、他施設を統合して、広い場所へ移転。
- ・図書館を充実させてほしいと思います。広い駐車場の整備、蔵書数の拡大、貸し出しカートを用意する等、一宮の中央図書館、小牧市の図書館のような施設になることを切に望みます。より充実するのであれば、場合によっては民間委託でもいいと思います。
- ・図書館、駐車場が少ないのが欠点だと思います。

⑤ その他社会教育系施設

- ・希望の家は一宮市との共同でもよいのではないかな？
- ・希望の家については、以前利用した事がありますが、料金も高く、不便で不必要と考えています。
- ・市役所、生涯学習センターは地の利を活かし、多機能化すべし（一宮のiビルのように）。
- ・岩倉生涯学習センターのホームページは使いづらさがこの上ない。これではホームページで予約をとるのに時間を取られてしまう。Webをもっと使いやすくして、市外の人たりも借りやすいようにするべき。

⑥ スポーツ施設

- ・スポーツは市民の健康維持に役立ち、医療費削減にもつながるので、関連施設は重視すべき。

<ul style="list-style-type: none"> ・文化、スポーツ施設など大規模な設備や建物については、近隣の市町村と共同で所有・運営しても良いのではないかと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・文化、スポーツ施設はどんどん民間運営へ移行していくべきだと思います。文化、スポーツ施設利用者は、少し料金が上がっても利用は続けるだろうし、民間運営のほうがより合理的なシステムで運営していくと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・本来ならスポーツ施設はスポーツ施設で一ヶ所に集合して設置していただくが良いと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・北小体育館、保健センターの建替えが必要と考えます。
<ul style="list-style-type: none"> ・確かに小さな町に施設が多いようです。体育館も岩倉は多いと言われていますから。
<ul style="list-style-type: none"> ・市民プールが無くなってしまったのはとても残念です。

⑦ 学校

<ul style="list-style-type: none"> ・中学校が2校、小学校が5校、見直すべき。
<ul style="list-style-type: none"> ・東小学区に住んでいるが、東小が全学年1クラスと少ないし、他の小学校も2クラスや3クラスなど少ないので、統合すべきと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・学校と児童館を統合して、そのまま残れるようにすれば、安全面でもよい。学校と集会施設、高齢施設も統合できれば、子どもとお年寄りの交流もでき、見守りやイベントも盛り上がるのでは。
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校も中学校も学校の生徒数に差がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・岩倉市は外国籍の子どもが多く、日本語の先生も充実した教育だと思います。他市のブラジルの生徒は学校に馴染めなくて、目標も見つからず、進路も困った状況があります。

⑧ 保育園

<ul style="list-style-type: none"> ・保育園や学校、児童館などは、今後も女性が社会で働くにあたり、とても重要であり、必要なものであると考えます。そのため、より預けやすく、いつでも受け入れていただけるような環境にしていきたいです。市での運営を望みます。
<ul style="list-style-type: none"> ・保育園は一部子ども園にするのは構わないが、公立園の維持、補修は絶対に必要。
<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの人口は減っているかもしれませんが、核家族や共働きの家族も多く、そこを最優先でカバーする意味で、保育園はいつそ余裕があるくらいでも良いように感じます。

⑨ 幼児・児童施設

<ul style="list-style-type: none"> ・学校、保育園、児童館等、子どもの成長に関する施設は、これからも市で運営・充実して行ってください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育、幼児、児童館等の子育てに関する施設は、少子化を食い止めるためにも絶対に必要であり、状況に応じて増加することも必要。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園や児童館と老人施設など一緒にする事で、様々な人との交流ができると思います。また、一緒にすることで児童館を利用できていない子どもも減るのでは？
<ul style="list-style-type: none"> ・ 発達障害や発達に遅れがある子どもたちが利用できる施設をなぜ岩倉市は作らないのか？児童デイサービスや療育施設の運営を増やすべき。困っているのは乳児の母ではなく、障害児の母です。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童館を利用して感じているのは、地区により施設に差があることは、不公平感が大きい。

⑩ 高齢福祉施設

<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の老年人口の増加と年少人口の減少を鑑み、学校・保育所の統合、高齢者施設の統合、また、将来的な転用を視野に入れた配置が必要。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 老人施設はまとめてしまうと、行くのが大変になるので、バラバラにあったほうが良いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ さくらの家、南部老人憩の家の浴場利用者に、少しでも料金徴収が望ましい（回数券発行等・・・）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 老人施設が多く、またたくさんのお金を費やしており、不平等感を強く感じている。将来ある若年層にもっとお金をかけるべきである。

⑪ 保健施設

<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校、保育園、医療保健、その他各地域に密着した小規模な施設はなるべく維持していただきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健センターと休日診療の統合。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健施設：健康診断しか利用したことがない。体育館でも良いのでは。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健センターと休日診療所は、建物内が暗く、古いので、あまり気軽に利用したいと思えない。駐車場も狭くて少ししか停められなくて不便。複合化して明るく清潔感のある感じにして、駐車スペースももう少しあればいいなと思います。

⑫ 医療施設

<ul style="list-style-type: none"> ・ 休日診療所の設備やできる処置に限界があるなら、輪番制を廃止して、現開業医の施設での休日診療を行ったほうがよっぽど良い医療ができる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市の検診も民間（市外も含めて）に委託し、休日診療所も無くして良いと思います。民間に委託したほうがサービス向上になるのではないかと思います

⑬ 庁舎施設

- ・出張所のような施設があると、子どもを連れていても出かけやすく、ありがたいなあと思います。
- ・市役所、生涯学習センターは地の利を活かし、多機能化すべし。
- ・市庁舎の駐車場に利用者最優先を徹底。休日に停められない時があります。
- ・市役所を勉強する際に利用するのですが、クーラーが全く効いておらず、灼熱地獄であります。

(2) 職員のあり方に関する意見

- ・公共施設のあり方・・・というよりも、各公共施設で働いていらっしゃる方々、一人一人の意識のあり方ではないでしょうか？赤ちゃんからご老人まで、そこに行ってみたい！行きたいと思ってもらえるような魅力ある公共施設にしていきたいと思います。
- ・市役所の職員が多いと思う。コストを考えるなら。

(3) 交通機関に関する意見

- ・車を持っていない家庭も多く、雨の日など公共施設に行く手段が無い。
- ・公共施設を統合されるとしたら、高齢者のためのアクセス等をしっかり充実させてほしいと思います。
- ・公共施設は1箇所（近くに）まとまっていたほうが良いと思います。高齢人口が増加すると、自分での移動能力が低下することが考えられるので、効率よい動きができるように思います。
- ・岩倉市は南北に長いので、交通不便であるし、駐車場も少ない（さくらの家、南部老人憩いの家、図書館、市民プラザ、など、オンデマンドより他市のような巡回バスのほうが良い。
- ・高齢化が進み、施設へのアクセスが問題になると思うので、い～わ号の利用がもっと便利になるよう、配慮をお願いします。
- ・車での移動（駐車場など）の利便性も考えてほしい。

(4) アンケートに対する意見

- ・何らかの形でアンケート結果が出るにしても、これに対して議会等で話し合いがされると思うが、これに対しての結果等、何も知りえない。私たち市民は、アンケートに答えるからには、この先の（アンケート調査による）動向も知りたい。

<ul style="list-style-type: none"> ・紙での集計は大変なので、ネットを使ってアンケートを取るのも良いと思う。より多くの若い人たちの意見が集めやすいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを取ってまで考える必要のある内容ではないし、アンケートのコストも無駄であると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの施設が実際にどの程度利用されているのかを知らないので、基準にするものがなく、記入に困りました。

(5) その他の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・岩倉市は「子育て支援に力を入れている」という理由で、私たちはここに住むようになりました。住んで3年になりますが、本当に住みやすいところだと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・岩倉市はとても住み良い町だと思っております。子ども、孫の代もこのまま魅力的な町であってほしいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・岩倉の市民税は概して高いと思うが、どこにどういうふうに使われているのかを詳細に明確にして、市民に問うべきだと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・岩倉市は周辺市に比べて、公共施設が質・量ともに劣っているにも関わらず、このように財政が圧迫しているということは、税収不足もさることながら、根本的に市政運営能力に欠けていると言わざるを得ません。市民としては、必ずしも「岩倉市」という枠組みの中で、市民サービスを受けたいとは考えていません。岩倉市の公共施設を廃止し、周辺市の施設のサービスを受けられるようになるのであれば、積極的にそのような政策を進めていただきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・人口は将来的に減少する数字を示しているが、逆説的に岩倉市として人口増を考える対策を練るべきである。それが本来なれば、他市との統合を考えたほうが良い（人口増に関しては、岩倉市として一大プロジェクトとして策を練ってほしい）。